

LION卓球ジャパンオープン荻村杯北九州大会が、6月6～10日まで、北九州市立総合体育館で行われた。

男子シングルスは、現在飛ぶ鳥を落とす勢いがある張本智和が馬龍(中国)、李尚洙(大韓民国)に勝利し、決勝に進むと、ロンドン五輪チャンピオンの張繼科(中国)をゲームオールで下し、優勝を飾った。バックハンドの打点は素晴らしく、戦術転換、サービスの組み立てでも良かった。

女子シングルスは、伊藤美誠が優勝。抜群の反射神経で、中国選手の強打をブロックすると、得意の叩きつけるようなフォアハンド攻撃とドライブを組み合わせ、決勝では、ここ最近敗れていた、王曼昱(中国)に勝利し、初優勝を飾った。

日本選手は、地元の声援を背に躍動。特に男女シングルスは日本選手がアベック優勝ということで、大きな盛り上がりを見せた。

Seamaster 2018 ITTF World Tour 6月6日～10日 北九州市立総合体育館

# LION JAPAN OPEN, KITAKYUSHU

北九州市制  
55周年記念

ライオン卓球ジャパンオープン  
荻村杯北九州大会

## Singles

女子  
シングルス優勝  
伊藤美誠



平成25年の福原愛選手以来の日本選手の優勝。短いボールもしっかり強打ができ、驚くようなプレーをみせた

←中国選手に連勝し、初優勝を決めた伊藤美誠。歓喜のガッツポーズ

BEST4

Women's

準優勝  
王曼昱(中国)  
ダイナミックなプレースタイルで、しっかり動ける王。ボールの威力も十分



準優勝 張繼科(中国)  
怪我から復帰し3戦目。試合勘が戻ったのか競り合いを制し決勝へ。途中、痛めた腰をかばう場面も見られたが、質の高いプレーをみせた



李尚洙(大韓民国)  
フットワークを活かした強力なフォアハンド攻撃で活躍。しかし張本の早さに屈した。ベスト4入り



ボル(ドイツ)  
世界選手権から好調なプレーをみせ今大会もベスト4入り。しかし準々決勝で首を痛め、無念のキケンとなった



「世界選手権のリベンジのつもりで大会に挑みました」と気合いの入ったプレーをみせた



準々決勝で憧れの馬龍(中国)と対戦。ゲームカウント4対2で勝利すると、喜びを全身で表現した



男子  
シングルス優勝  
張本智和

Men's



平野美宇  
高速打点での両ハンド攻撃を実現。放たれたボールも威力があり、鋭いコースに決まった



石川佳純  
ドライブをコーナーに打ち分けるなど、フォアハンド攻撃が良かった。白熱したラリー戦を展開



陳幸同(中国)  
両ハンド攻撃には威力があり、ラリーにも強く粘り強いプレーで、石川戦では逆転勝利



劉詩雯(中国)  
コンパクトなスイングながらも、力強い打球を繰り出した。打点の早さも特徴的



安藤みなみ  
田志希(大韓民国)、サマラ(ルーマニア)ら、実力者を下し、今大会躍動した



早田ひな  
地元・北九州出身の早田。スピンの効いた両ハンド攻撃を鋭いコースに決めた



鄭怡静(チャイニーズタイペイ)  
しっかりと回転をかける両ハンド攻撃は威力があった



木子(中国)  
足を使った攻撃と、バック面ソフトラバーで打つ深いボールの得点率が高かった

莊智淵(チャイニーズタイペイ)  
ファイト溢れる試合を展開。フットワークを活かしたフォアハンドがよかった



馬龍(中国)  
抜群の威力を誇る攻撃を展開。しかし調子が上がらず、ミスが目立った



松平健太  
相変わらずのボールタッチで、切り裂くようなスイングの両ハンド攻撃をみせた



上田仁  
抜群の台上処理と、安定した両ハンド攻撃を見せた。張繼科に敗れるもゲームオールの試合を展開



## Doubles



木造勇人(左)・張本智和  
中国ペアに敗れるが、台上的対応力やコース取りは素晴らしい



準優勝 梁靖崑(左)・周愷(中国)  
質の高いプレーとドライブの威力は大会でもトップクラス。しかし、要所でミスが目立った



男子ダブルス優勝  
李尚洙(右)・鄭榮植(大韓民国)



コンビネーションが良く、台と近い距離で、前陣での処理が際立っていた

## Doubles



準優勝  
劉詩雯(右)  
王曼昱(中国)  
レシーブからの展開でも量みかけるような連続攻撃が冴えた



女子ダブルス優勝  
木子(右)・顧玉婷(中国)  
動きが早く、コンビネーションもよかった



準優勝  
吉村真晴(右)  
石川佳純  
攻撃的なプレーとサービスからの攻撃が良かった



混合ダブルス優勝  
梁靖崑(左)・陳幸同(中国)  
圧倒的な攻撃力とラリー戦に強さをみせて活躍



Mixed

Seamaster 2018 ITTF World Tour  
**LION JAPAN OPEN, KITAKYUSHU**  
 ライオン卓球ジャパンオープン萩村杯北九州大会

Zoom-up-plus

劉国正男子中国代表監督も来日

テニスのように、後方にボールが転がると、ボールキッズがボールを拾い、審判が選手にボールをトスした



混合ダブルス表彰式



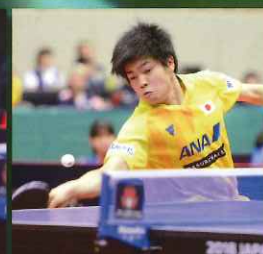
男子シングルスで優勝した張本智和。優勝後、ベンチに入った倉嶋洋介監督と抱き合い、喜びを分かち合った



吉田雅己



吉村真晴。混合ダブルスで準優勝



ボル(ドイツ)と接戦を演じた 丹羽孝希 田中佑汰



ジャパンオープン前に行われた香港オープンで優勝し、人気があった吉村和弘



戸上隼輔



木造勇人



地元北九州市出身の田添健汰



森園政崇



木原美悠



田口瑛美子



奥下茜里



小塩遥菜  
地元・石田卓球クラブ出身。広い守備範囲と重いカットが良かった



長崎美柚  
威力ある攻撃を見せ、打つコースも良かった



大藤沙月



塩見真希



K.カールソン(スウェーデン)  
バックハンドとフォアハンドのコンビネーションが良かった



ゴーズィ(フランス)  
世界選手権は不完全燃焼に終わった印象。今大会はコートを駆け回った



今大会最年少出場の松島輝空



田志希・梁夏銀(大韓民国)  
コンビネーションが良くベスト4入り



鄭先知(左)・劉馨伊(チャイニーズタイペイ)  
ベスト4入り



サマラ(左)・スッチ(ルーマニア)



安藤みなみのベンチに入った藤川英雄専修女子監督



佐藤瞳(左)・橋本帆乃香



伊藤美誠(右)・早田ひな  
劉・王(中国)ペアをあと一步まで追い込んだ



用具スポンサーを務めたニッタクのインフォメーションコーナーは、大きな盛り上がりを見せた



早田ひな選手が在学する、希望が丘高校の全校生徒約700名が応援に駆けつけた



予選ラウンドから中国選手が対戦。ハイレベルな試合が行われた